

## 宗教

科目番号	2C-1	科目名	キリスト教音楽概論
大学名	活水女子大学	担当教員	椎名 雄一郎(音楽学部 音楽学科 准教授)
開講形態	既存科目・前期	曜日	月曜日
教養・専門別	専門	時限	4時限
単位数	2単位	開講期間	平成30年4月9日(月)～平成30年7月30日(月)
授業定員	50人 (うち単位互換定員 5人)	開講時間	14時40分～16時10分(90分)「毎週 月曜日」
履修年次	2年次以上	試験・評価方法	ミニレポート 30% 期末試験 70%
開講場所	活水女子大学 東山手キャンパス	実習費等	なし
選考方法	書類選考	その他の特記事項	なし
連絡先	活水女子大学 教務課 TEL・FAX 095-820-6016		

### 科目内容

西洋音楽の基礎となるキリスト教音楽の歴史を学ぶことにより、普段私たちが演奏し、聴いている音楽がどのように発達してきたかを知ることが目的である。世界中には様々な音楽があるが、それらの中でなぜ西洋音楽のみが世界各地で受け入れられるようになったのだろうか。授業では古今の宗教音楽の名曲を紹介するとともに、キリスト教の歴史とその音楽の関連についても触れる。私たちが普段チャペルアワーなどで接する音楽の神学的な意味についても考察することにより、建学の精神を言葉のみではなく、音楽を通して知ることができるようになる。カトリック教会のミサ、プロテスタント教会の礼拝とそこで歌われる聖歌、賛美歌を音楽的な観点から理解する。実際にキリスト教音楽を聴き、グレゴリオ聖歌、ミサ曲、レクイエム、コラール、カンタータ、受難曲、福音唱歌、オルガン作品など鑑賞しつつ授業を進める。

## 医学・薬学

科目番号	2H-3	科目名	音楽療法概論
大学名	活水女子大学	担当教員	古賀 幹敏(音楽学部 音楽学科 准教授)
開講形態	既存科目・前期	曜日	火曜日
教養・専門別	専門	時限	5時限
単位数	2単位	開講期間	平成30年4月9日(月)～平成30年7月30日(月)
授業定員	50人 (うち単位互換定員 5人)	開講時間	16時20分～17時50分(90分)「毎週 火曜日」
履修年次	1年次以上	試験・評価方法	レポート30% 期末テスト70%
開講場所	活水女子大学 東山手町キャンパス	実習費等	なし
選考方法	書類選考	その他の特記事項	テキスト古賀幹敏『基礎から学ぶ音楽療法』海鳥社
連絡先	活水女子大学 教務課 TEL・FAX 095-820-6016		

### 科目内容

音楽が、何故治療に用いられることが可能なのかについて理解できる。このため単なる自分自身の楽しみだけでなく、他者の心身の健康のために音楽が果たす役割を伝えられるようになる。また、自身の理解だけでなく音楽療法について広く説明が他者に対しても行えるようプレゼンテーションの方法についても学びを深める。授業計画にそって講義形式で行なう。DVDや可能な限り実践例での音源を用いて音楽療法の実際を紹介する。音楽療法は実践の学問であるため、内容によっては受講生の体験を講座の中で求めることもある。

## 芸術

科目番号	2L-1	科目名	デザイン論
大学名	活水女子大学	担当教員	浜谷 信彦(健康生活学部生活デザイン学科 教授)
開講形態	既存科目・前期	曜日	水曜日
教養・専門別	専門	時限	3時限
単位数	2単位	開講期間	平成30年4月9日(月)～平成30年7月30日(月)
授業定員	50人 (うち単位互換定員 5人)	開講時間	13時00分～14時30分(90分)「毎週 水曜日」
履修年次	1年次以上	試験・評価方法	レポート・課題 約70% 出席・授業取組状況 約30%
開講場所	活水女子大学 東山手町キャンパス	実習費等	なし
選考方法	書類選考	その他の特記事項	テキスト「プロダクトデザインの基礎」JIDA ワークスコーポレーション
連絡先	活水女子大学 教務課 TEL・FAX 095-820-6016		

### 科目内容

私たちの生活を取巻く身近なデザインの事例を通して、人と人・人とモノ・人と社会に関係とデザイン、社会におけるデザインの活動と役割を理解する。また、モノ・情報・空間の各デザイン領域に共通する「デザイン思考」などのデザインの考え方を身につける。モノ・情報・空間のデザイン領域を中心に、グラフィックやプロダクト、建築など、各領域のスタンダードなデザインについて事例研究を行う。「デザイン思考」等のデザインの考え方、企画やコンセプト、変遷、市場展開、ブランド、またノーマライゼーションとデザインなどデザインの背景についても学ぶ。デザインの魅力を探ります。(理解を深めるため小課題を含む。)

## 言語

科目番号	2O-5	科目名	イタリア語 I
大学名	活水女子大学	担当教員	野田 ディーナ(非常勤講師)
開講形態	既存科目・前期	曜日	水曜日
教養・専門別	専門	時限	3時限
単位数	1単位	開講期間	平成30年4月9日(月)～平成30年7月30日(月)
授業定員	50人 (うち単位互換定員 5人)	開講時間	13時00分～14時30分(90分)「毎週 水曜日」
履修年次	1年次以上	試験・評価方法	試験90% 授業への取り組み10%
開講場所	活水女子大学 東山手町キャンパス	実習費等	なし
選考方法	書類選考	その他の特記事項	なし
連絡先	活水女子大学 教務課 TEL・FAX 095-820-6016		

### 科目内容

イタリア語の正しい発音を学び、特に日本語と異なる発音、および、日本語を母語とする学生にとって正しい発音がしにくい音に重点をおく。加えて、文法の基本的規則を簡単な文を使って学習していく。授業の目的は日常の簡単な会話を理解し、正しい発音で伝達できること。教科書に沿って、イタリア語の読み方、基本的な文法、日常生活に必要な基本の会話や挨拶を学ぶ。

科目番号	20-6	科目名	イタリア語Ⅱa
大学名	活水女子大学	担当教員	野田 ディーナ(非常勤講師)
開講形態	既存科目・前期	曜日	水曜日
教養・専門別	専門	時限	2時限
単位数	1単位	開講期間	平成30年4月9日(月)～平成30年7月30日(月)
授業定員	50人 (うち単位互換定員 5人)	開講時間	10時30分～12時00分(90分)「毎週 水曜日」
履修年次	2年次以上	試験・評価方法	試験 90% 取組状況 10%
開講場所	活水女子大学 東山手町キャンパス	実習費等	なし
選考方法	書類選考	その他の特記事項	なし
連絡先	活水女子大学 教務課 TEL・FAX 095-820-6016		

### 科目内容

一年目で学習した構文に基づいて、積極的に伝達したり、辞書を引きながら簡単な読み物を読んで訳したり、簡単な文書を書く。また、日常や旅行会話ができるようになる。イタリア語Ⅰa・Ⅰb(Ⅰ・Ⅱ)で使用した教材を引き続き用いて、role play で行う会話学習を中心にした文法、表現と語彙を学習する。また、別のプリントで、リスニング学習も加えて、より実践的なcommunication力を身に付ける。

科目番号	20-12	科目名	イタリア語Ⅱ
大学名	活水女子大学	担当教員	野田 ディーナ(非常勤講師)
開講形態	既存科目・後期	曜日	水曜日
教養・専門別	専門	時限	3時限
単位数	1単位	開講期間	平成30年9月25(火)～平成31年2月4日(月)
授業定員	50人 (うち単位互換定員 5人)	開講時間	13時00分～14時30分(90分)「毎週 水曜日」
履修年次	1年次以上	試験・評価方法	試験 90% 取組状況 10%
開講場所	活水女子大学 東山手町キャンパス	実習費等	なし
選考方法	書類選考	その他の特記事項	なし
連絡先	活水女子大学 教務課 TEL・FAX 095-820-6016		

### 科目内容

イタリア語の正しい発音を学び、特に日本語と異なる発音、および、日本語を母語とする学生にとって正しい発音がしにくい音に重点をおく。加えて、文法の基本的規則を簡単な文を使って学習していく。授業の目的は日常の簡単な会話を理解し、正しい発音で伝達できること。教科書に沿って、イタリア語の読み方、基本的な文法、日常生活に必要な基本の会話や挨拶を学ぶ。

科目番号	20-13	科目名	イタリア語Ⅱb
大学名	活水女子大学	担当教員	野田 ディーナ(非常勤講師)
開講形態	既存科目・後期	曜日	水曜日
教養・専門別	専門	時限	2時限
単位数	1単位	開講期間	平成30年9月25(火)～平成31年2月4日(月)
授業定員	50人 (うち単位互換定員 5人)	開講時間	10時30分～12時00分(90分)「毎週 水曜日」
履修年次	2年次以上	試験・評価方法	試験 90% 取組状況 10%
開講場所	活水女子大学 東山手町キャンパス	実習費等	なし
選考方法	書類選考	その他の特記事項	なし
連絡先	活水女子大学 教務課 TEL・FAX 095-820-6016		

### 科目内容

一年目で学習した構文に基づいて、積極的に伝達したり、辞書を引きながら簡単な読み物を読んで訳したり、簡単な文書を書く。また、日常や旅行会話ができるようになる。イタリア語Ⅰa・Ⅰb(Ⅰ・Ⅱ)で使用した教材を引き続き用いて、role play で行う会話学習を中心にした文法、表現と語彙を学習する。また、別のプリントで、リスニング学習も加えて、より実践的なcommunication力を身に付ける。

# 文学

科目番号	2P-1	科目名	日本古典文学史
大学名	活水女子大学	担当教員	黒木 香(国際文化学部 日本文化学科 教授)
開講形態	既存科目・後期	曜日	木曜日
教養・専門別	専門	時限	3時限
単位数	2単位	開講期間	平成30年9月25(火)～平成31年2月4日(月)
授業定員	50人 (うち単位互換定員 5人)	開講時間	13時00分～14時30分(90分)「毎週 木曜日」
履修年次	1年次以上	試験・評価方法	課題30% 論述形式の期末試験 70%
開講場所	活水女子大学 東山手キャンパス	実習費等	なし
選考方法	書類選考	その他の特記事項	なし
連絡先	活水女子大学 教務課 TEL・FAX 095-820-6016		

## 科目内容

古典文学は現代の日本人のものの考え方や文化をことのできる手掛かりでもある。漢字・漢文から始まった日本の古典文学の担い手は男性であったが、作品の継承と発展には女性たちも大いに関わる。日本神話には天照大神は欠かせないし、女性たちも歌や物語など多くの作品の創造主体となっていることを、女性に注目して見ながら、日本の女性の生き方についても考える。最終的には、作品を創出する社会の構造と作品の関わりに目を向ける。女性によって作られた奈良・平安・鎌倉時代の作品を取り上げる。原文を正確に音読し、古典の基礎知識を身につける。和歌や作り物語、日記文学などの作品を創作した女性たちはいかなる環境で生育したのか、制約の多い時代の中で女性たちが求められた生き方にも目を向けながら、作品を読む。授業時に取り上げた作品以外について、提示された課題に応じて各自で調べ、提出する課題を出す。

科目番号	2P-2	科目名	日本近現代文学史
大学名	活水女子大学	担当教員	田中 俊廣(国際文化学部 日本文化学科 教授)
開講形態	既存科目・後期	曜日	水曜日
教養・専門別	専門	時限	3時限
単位数	2単位	開講期間	平成30年9月25(火)～平成31年2月4日(月)
授業定員	50人 (うち単位互換定員 5人)	開講時間	13時00分～14時30分(90分)「毎週 水曜日」
履修年次	1年次以上	試験・評価方法	取組状況 20% レポート 80%
開講場所	活水女子大学 東山手キャンパス	実習費等	なし
選考方法	書類選考	その他の特記事項	テキスト三好行雄著『日本の近代文学』塙書房,1981.(塙新書)
連絡先	活水女子大学 教務課 TEL・FAX 095-820-6016		

## 科目内容

日本の近現代文学史を学ぶことは、言語表現としての文学とともに、その時代社会や思想や価値観を学ぶことでもある。また、作家や作中人物の人間性に触れることによって、人間理解を深めることができるようになる。明治・大正・昭和・平成という時代の変遷に沿って、文学も様々な様相と思潮を帯びていく。その歴史と作品を知ることによって、日本の思想や文化的状況を学んでいく。